

貸借対照表
2016年 12月31日現在

栗山興産株式会社
(単位：千円)

目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,331,691	流動負債	485,672
現金・預金	444,235	支払手形	346,128
受取手形	230,392	買掛金	51,713
売掛金	295,567	短期借入金	0
製品・商品	129,556	未払金	1,979
仕掛品	0	未払費用	14,144
原材料	18,472	未払法人税等	47,422
貯蔵品	3,676	その他流動負債	9,664
前払費用	2,271	未払消費税	9,146
未収入金	0	リース債務(流)	1,578
短期貸付金	200,000	賞与引当金	3,898
繰延税金資産	6,797		
その他流動資産	725	固定負債	11,854
未収消費税	0	リース債務(固)	1,440
貸倒引当金	0	未払役員賞与	696
		退職給付引当金	9,718
		負債合計	497,526
固定資産	105,318	(純資産の部)	
(有形固定資産)	101,542	株主資本	939,483
建物	1,895	資本金	18,000
構築物	1,276		
機械装置	86,402	利益剰余金	921,483
車両運搬具	123	利益準備金	4,500
工具・器具・備品	8,374	その他利益剰余金	916,983
建設仮勘定	0	別途積立金	200,000
有形リース資産	3,152	繰越利益剰余金	716,983
一括償却資産	320		
(投資その他の資産)	3,776	純資産合計	939,483
繰延税金資産	3,570		
その他資産	48	負債・純資産合計	1,437,009
貸倒引当金	0		
敷金	158		
資産合計	1,437,009		

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産： 移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)： 定額法

② 無形固定資産(リース資産を除く)： 定額法

ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

使用人に対する賞与の支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(4) その他計算書類作成のための重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 当期純損益金額

当期純利益 102,204千円